

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年08月26日

計画の名称	快適な生活環境の実現と安全・安心なまちづくり（重点計画）												
計画の期間	平成31年度～令和04年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	名張市												
計画の目標	公共下水道の整備を推進することにより、快適な暮らしの実現と生活環境の向上を図るとともに、安全・安心な市民生活を守る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,190	A	2,187	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.13	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3当初	R4未
1	公共下水道を利用できる市民の割合（処理人口普及率）を34%から58%へ増大する。 （処理人口普及率）（%）＝（公共下水道による処理が可能な地域の居住人口）／（住民基本台帳人口）	34%	58%	58%
2	下水道広域化推進総合事業による共同化施設の整備により、し尿処理機能の停止リスクを100%から46%へ低減する。 （し尿処理機能の停止リスク）（%）＝（し尿処理施設全体整備計画 - し尿処理施設整備状況）／（し尿処理施設全体整備計画）	100%	98%	46%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	名張市	直接	名張市	管渠(汚水)	新設	富貴ヶ丘処理分区(未普及解消) 1-A1-1	汚水管 150~200、L=0.6km	名張市						126	-		
	A07-002	下水道	一般	名張市	直接	名張市	管渠(汚水)	新設	美旗第2処理分区(未普及解消) 1-A1-2	設計・積算委託	名張市							2	-	
	A07-003	下水道	一般	名張市	直接	名張市	管渠(汚水)	新設	桔梗が丘第2処理分区(未普及解消) 1-A1-3	詳細設計、L=1.0km	名張市							10	-	
	A07-004	下水道	一般	名張市	直接	名張市	終末処理場	-	中央浄化センター(水質保全) 1-A1-4	詳細設計	名張市							84	-	
	A07-005	下水道	一般	名張市	直接	名張市	終末処理場	新設	中央浄化センター(資源循環) 1-A1-5	詳細設計、工事委託	名張市							1,965	1.2	策定中
												小計						2,187		
												合計						2,187		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	名張市	直接	民間	-	-	水洗化等改造費助成 1-C -1	水洗化・排水設備設置等への 助成	名張市						3		-
		下水道事業にあわせ水洗化・排水設備設置等に対し助成を行なうことにより、整備効果の向上と早期発現を図る。																	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
担当事業所管内での事後評価を実施	令和6年8月26日
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道の整備において、効果促進事業と共に実施することにより、効率的に整備が進められ、名張川の水質汚濁を防止し、快適な暮らしの実現と生活環境の向上が図られた。 ・ 令和4年度末において、公共下水道事業計画区域約1,403haの内、約1,064haの整備を完了し、定量的な指標である処理人口普及率58%の目標値を達成することができた。 ・ 下水道広域化推進総合事業による共同化施設の整備を実施し、定量的な指標であるし尿処理機能の停止リスクを100%から46%へ低減し、目標値を達成することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道広域化推進総合事業による共同化施設の整備を引き続き実施し、し尿処理機能の停止リスクを0%まで低減します。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終 目標値	58%
	最終 実績値	58%
2	最終 目標値	46%
	最終 実績値	46%